

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3_経済・雇用】

施策 3-6_林業の振興

基本計画		事業番号	細事業名称
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06044_01	市民の森整備事業
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06104_01	東予流域林業活性化推進事業
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06195_01	森林環境保全整備事業補助金
3-06-01	環境保全とふれあいの森林づくり	06268_01	森林経営管理事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06041_01	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)
3-06-02	林業生産基盤の整備	06183_01	林道保土野線開設事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06242_01	林道維持管理事業補助金
3-06-02	林業生産基盤の整備	06255_01	別子山地区森林整備事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06270_01	林道施設長寿命化事業
3-06-02	林業生産基盤の整備	06271_01	別子木材センター活性化事業

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06044_01			
事業名(行目名称)		市民の森整備事業	細事業名	市民の森整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興				
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	117439人			
	手段(どうやって)	老朽化した園内設備等の修繕や更新を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	老朽化した施設・設備を利用可能な状態にし、利用者の増加及び満足度を向上させるとともに、施設の有効利用、適正な管理を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,243	1,100	1,100	882	○需用費 900千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,243	1,100	1,100	882			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
市民の森利用者			目標値	7500	8500	8500	8500	9000
			実績	13507	12225	7049	11543	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
防護柵の設置(手前の約半分の区間)が完了した。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
残り半分の区間を設置する予定である。また利用者に人気の木製遊具が老朽化しており修繕での対応も限界を迎えているため、老朽遊具の撤去及び新型木製遊具の設置を要望する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
森林との触れ合いと、森林への学びの場を提供し、利用者が安全に、快適に利用できるよう適正な管理をすることができた。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06104_01		
事業名(行目名称)		東予流域林業活性化推進費	細事業名	東予流域林業活性化推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人		
	手段(どうやって)	東予流域林業活性化センターの活動経費の負担。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	東予流域内の林業活性化の基本方針を検討するとともに、流域内の具体的な取り組みを総合的、計画的に推進することにより、多様な森林の整備、林業生産活動の活性化、産地形成等を図る。各種研修を通じて森林組合の職員のスキルアップをすることで、施業区域の拡大を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,740千円	
経費		1,740	1,740	1,740	1,740		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,740	1,740	1,740	1,740		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
林業活性化対策事業数		目標値	5	5	4	4	5
		実績	5	4	4	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
東予流域内の林業活性化に向けて事業を実施しているが、施業地域の確保に苦慮している。引き続き県及び、東予3市及び2森林組合等と連携を密にしながら、施業地確保に努めていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
翌年度以降も引き続き、東予3市による広域的な事業を展開するため、現状を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
林業の担い手確保や作業道補修に関する事業については一定の効果が認められ、東予3市と森林組合が協働して推進していくことが必要である。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06195_01		
事業名(行目名称)		森林環境保全整備事業費	細事業名	森林環境保全整備事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員:新居浜市)		数値	588人		
	手段(どうやって)	森林組合が国県の補助を受けて実施する間伐、下刈等の造林補助事業に対して上乗せ補助を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の森林整備を適正に実施することにより、将来の木材生産における優良材を育てるとともに、国土の保全・水源かん養・自然環境の保全・地球温暖化防止等の公益的機能の高度発揮を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 3,800千円	
経費		2,992	3,800	3,800	2,080		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		1,000	1,000			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,992	2,800	2,800	2,080		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
森林整備面積(搬出間伐等) ha		目標値	40	40	0	40	40
		実績	29.03	28.94	0	18.04	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備が必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても、搬出間伐等の森林整備は必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続的な森林整備は必要であり、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても搬出間伐等の森林整備は必要であるため、森林整備を行ういしづち森林組合に対して継続して補助を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
森林の持つ公益的機能を発揮するためには、継続した森林整備が必要である。また、森林資源の活用による林業および地域経済の活性化の面においても、搬出間伐等の森林整備は必要である。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06268_01		
事業名(行目名称)		森林経営管理事業費	細事業名	森林経営管理事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	環境保全とふれあいの森林づくり	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	民有林のうち人口林		数値	約600ha		
	手段(どうやって)	市内の森林所有者に対して意向調査を実施し、市に森林の管理を委託希望する場合は、市と森林所有者が協定を締結し、市が間伐等を実施していく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	放置され荒廃した民有林を市が整備することで、森林の持つ多面的機能を十分に発揮させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		811	2,874	2,874	2,922	○需用費 10千円 ○役務費 20千円 ○委託料 2,841千円 ○使用料及び賃借料 3千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	811	2,874	2,874	2,922		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
現地調査面積(ha)		目標値	0	8	0	8	6
		実績	0	7.89	0	10.64	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
森林所有者による管理が行き届いていない森林が多くある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
国から令和15年頃までに、意向調査を完了させ、森林整備を推進するように指導されているため、今後も計画的に事業を推進していく。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
現地調査結果をもとに、森林所有者と市とで森林の管理方法について検討し、今後の管理計画を記した「経営管理権集積計画」を定めることができた。また市の管理山林の一部について切捨て間伐を実施し、適切な森林整備を実施することができた。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06041_01		
事業名(行目名称)		森林居住環境整備事業	細事業名	森林居住環境整備事業(森林基幹道開設事業)			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者(森林組合組合員)		数値	2,824人		
	手段(どうやって)	県営林道整備事業に対して、事業費の10%を負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本基幹道は、新居浜・西条市の山間部に散在する集落及び林道・林業団地・森林景勝地等を選び林業労働力を有効に活用しつつ、広域化・組織化による生産性の向上と森林レクリエーションの機能発揮を図るほか地域の振興を図る。また、森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全のため、利用区域内の森林の健全な森林整備を積極的に行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		11,500	16,000	20,700	20,700	○負担金補助及び交付金 16,000千円 県営林道整備事業に対して事業費の10%を負担する。	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	10,800	9,000	13,800	13,800		
	その他	0	6,000	6,000	6,000		
	一般財源	700	1,000	900	900		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
林道利用区域森林整備面積(ha)		目標値	7	7	7	7	7
		実績	8.2	1.8	1	4.625	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
角野工区、小味土工区について、延長予定である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林の持つ地球温暖化防止等の環境保全に寄与する公益的機能を十分発揮させ、また災害防止の観点からも、県の森林基幹道開設に対する負担金支出及び条件整備等について、継続実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
林道の開設が予定通り進み、林道沿線の森林整備に寄与することができた。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06183_01		
事業名(行目名称)		別子山地区林道等開設事業	細事業名	林道保土野線開設事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全体計画延長		数値	4,000m		
	手段(どうやって)	環境や生態系に配慮しながら低コストで安全な林道を整備し、林道整備による効果が最大限に発揮されるとともに、作業路等の整備により林道の利用が一層促進されるよう事業を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	事業開始時においては、従事者の高齢化等により山林は荒廃しつつあるため、林道網整備が急務となっている。林道網整備を行う事により、大型林業機械の導入や作業路の整備などを促進し、施業の集約化によるコストの削減や間伐材の搬出・有効利用により林家の所得の向上、担い手の確保を行い、森林資源の適正な管理を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		9,316	8,000	1,941	0		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	9,300	0	0			
	その他	0	8,000	1,941	0		
	一般財源	16	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
開設延長(m)		目標値	100	100	0	0	83
		実績	0	83.1	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>今年度計画していた路線全体計画調査が、林野庁の農山漁村地域整備交付金林道事業の対象となるように改正されたため、令和5年度事業に先送りすることになった。また、今年度は開設工事を中断して路線全体計画調査を予定していたが、本事業は、目的達成のために林道の開設を推進するものであることから、成果指標は開設延長としている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今年度予定していた路線全体計画調査を、令和5年度から農山漁村地域整備交付金林道事業を活用して実施する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>交付金の活用を検討したが、事業化は難しいため、これまでとおり過疎債を充当して事業を進める。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06242_01		
事業名(行目名称)		林道維持管理事業費	細事業名	林道維持管理事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	森林所有者及び地域住民(延べ人数)		数値	69588		
	手段(どうやって)	森林組合が、市民の利用が多く生活道的な森林組合林道において実施する雑草刈り、側溝整備などの林道維持管理事業に対し、補助を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	森林組合が管理する林道のうち、市民の利用が多く生活道的な林道の維持管理を行い、林道使用車両及び市民の通行等の安全を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,312	1,312	1,312	1,312	○負担金補助及び交付金 1,312千円 支出先:いしづち森林組合、草刈り・側溝清掃等費用	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,312	1,312	1,312	1,312		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
補助対象路線利用区域森林整備面積			目標値	40	40	40	40
			実績	7.5	16.2	2	7.81
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
補助金対象の11路線について、順次作業を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
森林組合管理林道のうち市民の利用が多く生活道的な側面を持つ林道において、森林整備の推進のみならず、林業用車両、一般車両、地域住民の通行の安全を確保する必要があるため、今後においても補助規模・要件等について事業実施主体と協議・検討しながら事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		B:事業の進め方の改善検討				
市民の利用が多く生活道的な森林組合林道において実施する雑草刈り、側溝整備などの林道維持管理においては、実施できた。 なお、一部において、林業用車両及び一般車両、地域住民の通行の安全が確保できていないところがあるので、今後、検討・改善する必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	06255_01		
事業名(行目名称)		別子山地区森林整備事業		細事業名 別子山地区森林整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用		施策 林業の振興				
	基本計画	林業生産基盤の整備		担当課 農林水産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区市有林・銅山川北側面積(ha)			数値	1000		
	手段(どうやって)	接道状況のない銅山川北側の市有林について、隣接する住友林業社有林内の私設林道から新規の森林作業道を連結、延長し3年度間で市有林内へ到達させる。市有林到達後の4年度目からは、森林作業道開設と並行して市有林内の搬出間伐に着手する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	間伐等の適切な森林管理により、自然環境保全、水源涵養、土砂流失防備等の森林機能発揮を図り、森林所有者の責務を果たす。また、搬出材の有効活用(地域内木材加工センターへ搬入)により雇用の創出、地域活性化に繋げる。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		28,279	48,464	51,711	51,650	○役務費 2,209千円 ○委託料 45,010千円 ○負担金補助及び交付金 1,245千円		
財源	県・国支出金	0	6,498	6,498	0			
	地方債	15,200	13,200	13,200	13,200			
	その他	0	15,590	22,501	22,502			
	一般財源	13,079	13,176	9,512	15,948			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
森林作業道の改良・新規開設延長(m)			目標値	800	980	1000	1000	600
			実績	800	933	1050	1050	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
令和4年度から市有林の搬出間伐を行い、間伐材及び支障木について木材加工業者への販売を行っている。また森林作業道の開設は、概ね計画通りに進捗している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
森林作業道の開設と並行して、市有林内で搬出間伐等の森林施業を開始するため、予算の拡大が必要である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
令和4年度より市有林内からの搬出間伐を実施し、計画どおりに森林作業道の新規開設を実施した。(市有林内1,050m)								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06270_01		
事業名(行目名称)		林道施設長寿命化事業	細事業名	林道施設長寿命化事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市管理の林道橋	数値	橋梁数N=6橋			
	手段(どうやって)	令和2年度に策定した新居浜市林道施設長寿命化計画(個別施設計画)に基づき定期的な点検・診断及び補修・更新を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	予防保全型維持管理の考え方を導入し、必要な補修や機能強化を行うことで本市林道橋の健全度Ⅱ以上の状態を確保して、通行の安全と施設の延命化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○橋梁補修調査設計委託料 3,388千円	
経費			4,000	4,000	3,388		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		4,000	4,000	3,388		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
健全度Ⅱ以上の林道橋数		目標値	5	5	5	5	6
		実績	5	5	5	5	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
調査の結果、既設塗料に鉛が含有していたことが判明し、施工時の鉛中毒防止対策や処分費が必要となった。また、板厚減少を伴う腐食が見られ当て板補修も必要になったため、概算事業費が個別計画策定時に比べ増額となった。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
健全度Ⅲとなった部材の補修を行い、橋梁の健全度をⅡ以上を確保する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
補修工事に向けた工事の詳細設計が完了した。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	06271_01		
事業名(行目名称)		別子木材センター活性化事業	細事業名	別子木材センター活性化事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	林業の振興			
	基本計画	林業生産基盤の整備	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	有限会社別子木材センター		数値	R4.4.1地域住民数 129名		
	手段(どうやって)	別子木材センターの老朽化した機械設備(テーブル、カットソー、集塵設備、パチカルサンダー、フィンガージョインター)を更新する。建屋部分については、屋根修繕により雨漏り解消、水銀灯(2021末で製造、輸入等禁止)照明→LED照明へ更新する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	生産効率と品質の向上により、より多くの集成材が製造可能となる。営業活動の強化とコスト削減等と同時に取り組む事により、早期の経営安定化に繋げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			213,000	213,000	34,650	○負担金補助及び交付金 213,000千円	
財源	県・国支出金		0	42,100	15,750		
	地方債		213,000	170,900	18,900		
	その他		0	0	0		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
建屋修繕(1)、機械設備(5台)更新		目標値			6	6	1
		実績			1	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
令和4年度中において、フィンガージョインター以外の設備更新は完了予定(入札、契約等はすべて済)フィンガージョインターは、納品までに1年半近くの期間を要するためR5へ繰り越し予定。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
建屋、機械設備更新(ハード部分)に要する経費の支援については、令和4年度予算をもって一旦終了とする。今後は、営業活動(ソフト部分)の支援を継続していく予定としている。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症に関連する世界的な半導体不足の影響を受け、一部機械設備の納期が遅れているが、R5.9月末には機械設備の更新は完了する予定となっている。また建屋修繕の残り部分もR5年中には完成予定であり、生産性の向上、品質向上が見込まれる。市としては、今後も既存顧客からの受注増、新規顧客獲得に向けた営業活動を積極的に支援し、早期の経営安定化を図る。							